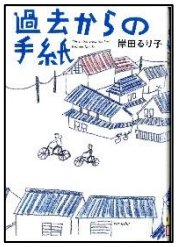
VOICE

図書館でボランティア活動をしてくれた中高生のみなさんに、オススメの一冊を紹介してもらいました！

（編集にあたり、趣旨は変えずに一部修正しています。）



『過去からの手紙』岸田 るり子／作　理論社

高校生の男女がお互いの視点から、ある殺人事件について謎を解いていく。男女のそれぞれの見方、考え方などが細かく書かれており、感情が入りやすい作品です。

（雫太さん）



『かわいそうだね?』綿矢 りさ／著　文藝春秋

何かあったわけでもなく、お互いに悪いところがあるわけでもないのに、なぜか人間関係がうまくいかなくてモヤモヤする時、ありませんか？この本はそんな時に寄り添ってくれます。「明日も頑張ろう」と思える一冊です。

（K.Mさん）

●ご感想、本の紹介など、中央図書館のヤングアダルトコーナーに設置されているポスト、または下記のメールアドレスにお寄せください。メール投稿の際は件名にYOUNG＝ＪＩＮ、本文に年齢・ペンネームを明記してください。

●本の表紙掲載については、出版社の許諾を得ています。

編集・発行　長岡市立中央図書館（0258-32-0658）

スマホサイト→

図書館HP　http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp

図書館メールアドレス　lib@city.nagaoka.niigata.jp

←携帯サイト

WE'RE YOUNG-JIN

長岡市立中央図書館ヤングアダルト News
Vol.52　2018.7

部活！

みなさんはどんな部活に入っていますか？運動部に入っている人も、文化部に入っている人も、部活に打ち込む姿はまぶしく輝いています。今回はそんな「部活」をテーマにしたキラキラの本を紹介します。



『響け!ユーフォニアム　北宇治高校吹奏楽部へようこそ』[1]

武田 綾乃／著　宝島社

中学時代、厳しい吹奏楽部で練習を積んできた久美子。かつては吹奏楽の強豪校だったという北宇治高校に入学したが、そのユルさに戸惑いを隠せなかった…。シリーズを通して少女たちの心の成長を描く青春群像小説。スピンオフの『立華高校マーチングバンドへようこそ』もあわせてぜひ。



『園芸少年』　魚住　直子／著　講談社

高校では帰宅部で気楽にいこうと思っていたのに、なりゆきで園芸部に入ることになった主人公と、元不良と、引きこもりの男子の物語。興味がなかった草花なのに、その魅力にどんどんハマってゆく３人。思春期まっさかりの不器用な少年たちの心の成長が、爽やかに温かく描かれています。



『ぼくたちのアリウープ』
五十嵐 貴久／著　PHP 研究所

バスケ部に入部するために私立国分学園高校に入学したジュンペーだったが、バスケ部は１年間の対外試合禁止に。しかも、２年生は１年生の入部を認めないという。１年生が２年生に試合で勝ったら入部を認めてもらうという約束のために、キツイ練習をこなし続け、試合に臨むが…。バスケに打ち込む姿が眩しい一冊です。



『うたうとは小さないのちひろいあげ』
村上　しいこ／著　講談社

強引な先輩に誘われて、高１の桃子が入部したのは、短歌をつくる、うた部。高校三年間、友達は作らない、と誓う桃子は、うたで「自分」を表現する先輩たちとの関わりのなかで、かつて裏切ってしまった親友への想いを、うたへと昇華させます。下の句を得たとき、タイトルのうたが美しく響き、胸に迫ります。



『サッカーの神さまをさがして』
はらだ　みずき／著　KADOKAWA

サッカーライターとなった春彦は、高校時代を振り返り、ブログを書き起こした。当時、彼の入学した新設校にはサッカー部がなく、仲間をさがして同好会の立ち上げから始める。サッカー漬けの日々、仲間との衝突、友情、別れ…。サッカーの知識がなくても引き込まれてゆく、心揺さぶられる物語です。



『コロヨシ!!』　三崎 亜記／著　KADOKAWA

高２男子藤代樹が所属するのは「掃除部」。といっても、単にお掃除する部活ではない。公式戦があり、道具である長物を手に舞う…れっきとした競技であり、「旧国技」であり、国家保安局の謎の監視つき活動制限スポーツだ。謎の少女、祖父の失踪、両親の反対…、とにかく謎が多すぎる「掃除」とは、いったい？！



『部活弁当』　山口 美佐／著　地球丸

運動部でがんばっている中高生が、最高のパフォーマンスを発揮出来るように考えられたお弁当。例えばスープの具ひとつとっても、瞬発系運動部にはアミノ酸のバランスがいいうずらの卵を勧め、持久系運動部には、糖質の多いマカロニや白玉が最適など、目からうろこのアイディアが盛りだくさんです！